

安全データシート

ページ: 1/13

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 27. 03. 2025

製品: 1, 2-Propandiol USP

バージョン: 11.0

(30035115/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

1. 化学品及び会社情報

品名:

1, 2-Propandiol USP

用途: 飼料

避けるべき用途: 人工霧（劇場）での使用, 電子タバコでの使用

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

0VOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

本製品は、GHS分類基準に該当しない。

【GHSラベル要素】:

本製品は、GHS基準により有害性警告表示を必要としない。

GHS分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性:

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 27. 03. 2025

製品: 1, 2-Propandiol USP

バージョン: 11.0

(30035115/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 単一製品

プロパン-1, 2-ジオール

CAS番号: 57-55-6

化審法: (2)-234

労働安全衛生法: (2)-234

GHS分類に寄与する成分

プロパン-1, 2-ジオール

含有量 (W/W): > 90 % - <= 100 %

CAS番号: 57-55-6

化審法: (2)-234

労働安全衛生法: (2)-234

有害性は特になし。

化学式: C3 H8 O2

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気の場所に移動させること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹸と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

口をすすぎ、そして200-300mlの水を飲む。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。

処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

二酸化炭素, 粉末, 噴霧水, 耐アルコール性泡

[使ってはならない消火剤]:

棒状放水

[火災時の特有の危険有害性]:

容器を噴霧水で冷却する。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器を着用すること。

[追加情報]:

汚染された消火用水は、法令に従い処分すること。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。

[環境に対する注意事項]:

環境への流出を避けること。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

大量の場合: ポンプで容器に回収する。

残渣の場合: 吸着剤に吸収させ回収し処分する(例: 砂、おが屑、珪藻土)。法令に従って吸着剤を廃棄すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

作業場の換気を十分に行う。

安全取扱注意事項:

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

[保管]

保管条件に関する追加情報: 容器は密閉して、乾燥した涼しい場所に保管する。空気との接触を避ける。空気中の湿気から保護すること。製品を光に当てない。

保管安定性:

保管温度: $\leq 40^{\circ}\text{C}$

所定の保管温度に留意すること。

次の温度以上にならないように保護すること: 40°C

容器製品は高温によるダメージがある。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

物質固有の職業曝露限界値は知られていない。

【保護具】

[呼吸用保護具]:

呼吸保護具（蒸気／エアゾール発生の場合） 固体および液体微粒子に対して中性能粒子フィルター（例：EN 143または149、タイプP2またはFFP2）

[手の保護具]:

長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋（EN ISO 374-1）（保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること）：ニトリルゴム（0.4 mm）、クロロプレンゴム（0.5 mm）、ブチルゴム（0.7 mm）など。

種類が多岐にわたるため、製造業者が指示した方法を遵守すること。

補足：仕様は、試験、文献データ及び手袋製造業者の情報に基づくもの、あるいは類似の物質から類推されたものである。条件が多いため（温度など）、耐薬品性保護手袋の実際の使用時間は試験で別途得られた物質透過時間よりもかなり短いと考えなければならない。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡（フレームゴーグル）（例 EN 166）

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:

所定の保護具に加えて、上下一体型作業衣の着用が必要である。労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:

液体

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 27. 03. 2025
製品: 1, 2-Propandiol USP

バージョン: 11.0

(30035115/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

| | | |
|--------------|---|-----------------------------|
| 色: | 無色 | |
| 臭い: | 無臭 | |
| 臭いのしきい値: | 測定されていない。 | |
| pH: | 4 - 7 (20 ° C) | (社内試験法) |
| 融点: | -59 ° C 文献データ | (その他) |
| 沸点: | 184 ° C (1, 003. 2 hPa) | (EU指令 92/69/EEC, A. 2) |
| 引火点: | 104 ° C | (EU指令 92/69/EEC, A. 9, 密閉式) |
| 蒸発率: | 値は、ヘンリー則定数もしくは、蒸気圧から類推することができる。 | |
| 可燃性 (固体/ガス): | 発火性低い。 | (引火点から導きだした) |
| 爆発下限界: | 分類と表示に関連しない液体に関するものである。、爆発下限界は、引火点より5-15°C低い可能性がある。 | |
| 爆発上限界: | 分類と表示に関連しない液体に関するものである。 | |
| 自然発火温度: | > 400 ° C | (EU指令 84/449/EEC, A. 15) |
| 熱分解: | 適切に保管し取り扱えば、分解しない。 | |
| 自己発火性: | 温度: 20 ° C 自己発火性なし。 | 試験の種類: 室温において自然発生する自己発火性。 |
| 爆発危険有害事項: | 爆発性なし。 | |
| 火災を引き起こす性質: | 火災伝播性はない。 | |
| 蒸気圧: | 0. 2 hPa (25 ° C) | (EU指令 92/69/EEC, A. 4) |
| 密度: | 1. 03 g/cm ³ (20 ° C) | (規則 440/2008/EC, A. 3) |
| 相対密度: | 1. 03 (20 ° C) | (EU指令 92/69/EEC, A. 3) |
| 相対ガス密度 (空気): | 適用せず | |
| 水に対する溶解性: | 混合可 (20 ° C) | |

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 27. 03. 2025

製品: 1, 2-Propandiol USP

バージョン: 11.0

(30035115/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

溶解度（定性的） 溶媒: 極性溶媒
可溶

n - オクタノール/水分配係数 (log Pow) : -1.07
(20.5 ° C; pH: 6.2 - 6.4)

(EU指令 92/69/EEC, A. 8)

表面張力: 71.6 mN/m
(21.5 ° C; 1.01 g/l)

(EU指令 92/69/EEC, A. 5, OECD
harmonized ring method)

粘度: 43.428 mPa.s
(25 ° C)
文献データ

動粘性率:
データなし。

モル質量: 76.10 g/mol

粒子特性

粒度分布: 物質/製品は固体や粒状以外の形状で流通もしくは使用されない。 - 試験は、科学的に正当化されていない。

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

> 40 ° C

湿気を避けること。直射日光を避けること。前述の条件を無視すると好ましくない分解反応が起こることがある。

熱分解: 適切に保管し取り扱えば、分解しない。

[混触危険物質]:

亜鉛, 強酸化剤

金属の腐食: 金属に対する腐食性なし。

[危険有害な分解生成物]:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

危険分解物:

カルボニル化合物, ジオキソラン誘導体

化学安定性:

製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

反応性:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 22,000 mg/kg

急性吸入毒性

LC50 (半数致死濃度) ウサギ (吸入による): > 317042 mg/m³ 2 h
エアゾールで試験した。

急性皮膚毒性

LD50 (半数致死量) ウサギ (経皮): > 2,000 mg/kg
死亡なし

急性毒性の評価

単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。短期間の吸入による動物試験において、この物質は、ほとんど毒性がない。

症状

情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。

刺激性

刺激性作用の評価:

皮膚刺激性なし。眼刺激性なし。エアロゾル暴露により眼、鼻および喉に一時的な刺激を生じる可能性がある。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン404)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン405)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

動物実験では、皮膚感作性は認められなかった。

実験または計算によるデータ:

モルモットに対するmaximization法 モルモット: 感作性なし

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

細菌類および哺乳類の培養細胞を用いた種々の試験において、変異原性は認められなかった。哺乳類を用いた試験では、本品は変異原性を示さなかった。

発がん性

発がん性の評価:

高用量の本物質が飼料経由で投与された長期動物試験では、発癌性は認められなかった。

生殖毒性

生殖毒性の評価:

動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。

発生毒性

催奇形性の評価:

動物実験では、発生毒性／催奇形性は認められなかった。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

利用できる情報に基づくと、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

この物質の反復経口摂取では物質に関連した影響は生じなかった。

誤えん有害性

適用せず

その他該当する毒性情報

現在までの経験及び知見では当製品は諸注意を守って取り扱う限り健康を害しない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。

廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

魚類に対する毒性:

LC50（半数致死濃度）(96 h) 40, 613 mg/l, ニジマス（学名：Oncorhynchus mykiss）（魚急性試験, 止水式）

水生無脊椎動物:

EC50 (48 h) 18, 800 mg/l, ミシッドシュリンプ (学名: *Mysidopsis bah*)

水生植物:

EC50 (72 h) 24, 200 mg/l (成長率), 緑藻 (学名: *Selenastrum capricornutum*) (OECDテストガイドライン 201)

微生物/活性汚泥への影響:

EC0 (effect concentration 0: 無影響濃度) (18 h) > 20, 000 mg/l, プチダ菌 (学名: *Pseudomonas putida*) (水生の)

魚類に対する慢性毒性:

試験は、科学的に正当化されていない。

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:

無影響濃度 (7 日), 13, 020 mg/l, ネコゼミジンコ属 (学名: *Ceriodaphnia* sp.)

陸生生物に対する毒性の評価:

試験の実施は、必要ない。

土壌生物:

試験は、科学的に正当化されていない。

陸生植物:

試験は、科学的に正当化されていない。

その他の陸生非哺乳動物:

試験は、科学的に正当化されていない。

移動性**環境区分間の輸送評価:**

試験は、科学的に正当化されていない。

残留性・分解性**生分解性及び除去率の評価 (水中環境):**

生分解性良好 (OECD基準による)

除去情報:

81. 7 % 理論値と比較した二酸化炭素発生量 (28 日) (OECDテストガイドライン 301F) (好気性, 家庭廃水由来の活性汚泥)

90. 6 % 理論値と比較した二酸化炭素発生量 (64 日) (OECDテストガイドライン 306) (好気性, 海水)

生体蓄積性**生体蓄積性の可能性評価:**

n-オクタノール／水の分配係数 (log Pow) より、生体への濃縮性はないと考えられる。

[追加情報]

その他の環境毒性情報:
未処理で河川等に流さないこと。

13. 廃棄上の注意

国内の法令に従い廃棄するか焼却すること。

[汚染された容器]:
汚染されていない容器は再利用できる。
汚染された容器は製品と同様に廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

| | |
|-----------------------|------------------------|
| | 輸送規則では危険有害性物質に分類されていない |
| 国連番号もしくはID番号 | 非該当 |
| 品名（国連輸送名）: | 非該当 |
| 国連分類（輸送における危険有害性クラス）: | 非該当 |
| 容器等級: | 非該当 |
| 環境有害性: | 非該当 |
| 使用者への特別注意事項 | 知見なし |

海上輸送

IMDG

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

| | |
|-----------------------|-------------|
| 国連番号もしくはID番号: | 非該当 |
| 品名（国連輸送名）: | 非該当 |
| 国連分類（輸送における危険有害性クラス）: | 非該当 |
| 容器等級: | 非該当 |
| 環境有害性: | 非該当 |
| | 海洋汚染物質: 非該当 |
| 使用者への特別注意事項 | 知見なし |

Sea transport

IMDG

Not classified as a dangerous good under transport regulations

| | |
|------------------------------|----------------------|
| UN number or ID number: | Not applicable |
| UN proper shipping name: | Not applicable |
| Transport hazard class(es): | Not applicable |
| Packing group: | Not applicable |
| Environmental hazards: | Not applicable |
| | Marine pollutant: no |
| Special precautions for user | None known |

航空輸送

IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

Air transport

IATA/ICAO

Not classified as a dangerous good under

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 27. 03. 2025

製品: 1, 2-Propandiol USP

バージョン: 11.0

(30035115/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

| | | | |
|------------------------|------|------------------------------|----------------|
| ない | | transport regulations | |
| 国連番号もしくはID番号: | 非該当 | UN number or ID number: | Not applicable |
| 品名 (国連輸送名): | 非該当 | UN proper shipping name: | Not applicable |
| 国連分類 (輸送における危険有害性クラス): | 非該当 | Transport hazard class(es): | Not applicable |
| 容器等級: | 非該当 | Packing group: | Not applicable |
| 環境有害性: | 非該当 | Environmental hazards: | Not applicable |
| 使用者への特別注意事項 | 知見なし | Special precautions for user | None known |

IMO機器によるバルクの海上輸送

Maritime transport in bulk according to IMO instruments

| | | | |
|--------|------------------|---------------------|------------------|
| 該当法規: | IBC-Code | Regulation: | IBC-Code |
| 品名: | Propylene glycol | Product name: | Propylene glycol |
| 汚染の種類: | OS | Pollution category: | OS |
| 船舶型: | 非該当 | Ship Type: | Not applicable |

指針番号: 171

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

15. 適用法令

消防法: 第4類, 第3石油類, 水溶性

プロパン-1, 2-ジオール
労働安全衛生法
通知対象物

プロパン-1, 2-ジオール
労働安全衛生法
表示対象物

プロパン-1, 2-ジオール
化審法
優先評価化学物質
通し番号: 106

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

有害液体物質 (Z類物質)

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

Marine Pollution Prevention Law (JP)

任意の濃度に適用:

Z類物質

海洋資源にも人健康に対しても軽微な危険と考えられる有害液体物質が、クリーニングあるいは浮力調整によりタンクから海に排出される場合、海洋環境への排出物の品質及び数量に関して緩和な制限が妥当と考えられる。

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

Marine Pollution Prevention Law (JP)

係数: 0

Z類物質

海洋資源にも人健康に対しても軽微な危険と考えられる有害液体物質が、クリーニングあるいは浮力調整によりタンクから海に排出される場合、海洋環境への排出物の品質及び数量に関して緩和な制限が妥当と考えられる。

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

Marine Pollution Prevention Law (JP)

係数: 0

カテゴリー: その他の物質

当該物質は評価の結果カテゴリーX, Y, Zに該当しない。理由として、タンク洗浄やバラスト排出は、海洋資源、人の健康、快適環境など海の合法的な利用に危害を与えない。バラスト水、残渣等はMARPOL Annex IIの対象にはならない。

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

Marine Pollution Prevention Law (JP)

任意の濃度に適用:

カテゴリー: その他の物質

当該物質は評価の結果カテゴリーX, Y, Zに該当しない。理由として、タンク洗浄やバラスト排出は、海洋資源、人の健康、快適環境など海の合法的な利用に危害を与えない。バラスト水、残渣等はMARPOL Annex IIの対象にはならない。

その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 27. 03. 2025

製品: 1, 2-Propandiol USP

バージョン: 11.0

(30035115/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

16. その他の情報

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。